

発行／坂城町公民館 発行人／柄澤 俊彦 編集／広報部 印刷所／(株)シーデンス
〒389-0602 長野県埴科郡坂城町中之条 2468 文化センター内 (TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722)



千曲坂城クラブ吹奏楽専門部



坂城小学校



村上小学校合唱部



さかきハッピープラス

◆主な内容◆

ふるさと探訪 PART121	2～3 P
春のスポーツ大会・文化講座・国際交流教室	4 P
納涼音楽会・合同茶会・続・楽しく脳トレ	5 P
分館役員研修会・分館だより	6 P
500字リレートーク・開催中教室	7 P
お知らせ、館説 開畝	8 P

第48回納涼音楽会

(関連記事 5P)

速報！ 開畝遺跡の発掘調査

1 開畝遺跡とは？

開畝遺跡は、中之条字開畝に所在する遺跡です。御堂川が形成した扇状地の扇央付近に位置し、武道館周辺から上

文化センターおよび図書館駐車場として利用されている場所に、坂城町新複合施設の建設が予定されています。この場所は、開畝遺跡という遺跡の範囲に含まれていることから、事業に先立ち、遺跡の発掘調査を実施しました。今回の探訪では、調査成果の一部をご紹介します。【写真1】



写真1 上空からみた発掘調査地

信越自動車道手前あたりまでが遺跡範囲とされています。

開畝地籍では、昔から土師器や須恵器などの土器が出土していました。長野県に関する歴史史料をまとめた『信濃史料』（昭和三十一年刊行）にも開畝遺跡の名が認められ、古くから知られた遺跡であったことがうかがえます。

さて、開畝遺跡ではこれまでに五つの地点で発掘調査が行われてきました。これらの調査では、縄文時代から中世まで幅広い時代の痕跡が見つかりました。なかでも奈良時代から平安時代の土器や住居跡が多く見つかったことから、開畝遺跡はこの時期に多くの人々が住んでいたと考えられています。

2 発掘調査はどうやるの？

発掘調査と聞くと、どんな光景が思い浮かぶでしょうか？ 小さなスコップやハケを使って土器を掘り出したり、貴重な出土品をそっと取り上げたりする様子をイメージする方も多いかもしれません

ね。

もちろん、こうした作業も発掘調査の大切な作業なのですが、調査にはこれ以外にもたくさん大切な作業があります。発掘調査はどのように進められるのか、ご紹介します。

①重機掘削：バックホウを使って、遺跡が見つかる深さまで土を掘ります。深さは調査を行う地点によって違うので、どのくらいの深さに遺跡が埋まっているのか、あらかじめ試掘調査で確認しておく場合が多いです。

②遺構を見つける：重機掘削が完了したら、次は両刃鎌やジョレンを使って人の力で地面を削ります。土の色や混入物の違いから、竪穴住居の跡や穴の跡など（遺構）を見つけます。

③遺構の掘り下げ：見つけた遺構を移植などで掘り下げていきます。この時、土器や石器などの遺物が出土することもあります。遺物はすぐには取り上げずに、出土した位置や深さを記録



写真2 調査の様子

してから取り上げます。【写真2】

④写真撮影：遺構の掘り下げが完了したら、記録のために写真撮影をします。他にも、遺物がまとまって出土したときや、土の堆積、作業風景など、さまざまな場面で写真撮影します。

⑤測量・図面作成：見つけた遺構や遺物は、写真だけでなく図面でも記録します。位置や高さ、遺物が出土した状況、土がどのように堆積していたかなど、できる限りたくさんさんの情報を記録します。

このような流れで、発掘調査は進められます。現地での調

査が終わったなら、出土した遺物や記録した図面などを整理し、「発掘調査報告書」を刊行して、発掘調査は完了します。

3 今回の発掘調査では何がわかったの？

調査の結果、平安時代の竪穴住居跡が7軒、土坑4基、土坑よりも小型の穴（小穴）が20基見つかり、この場所に集落が存在したことがわかりました。

竪穴住居は地面を掘って床をつくった半地下式の住居です。日本では縄文時代から平安時代末まで一般的な住居として利用されました。「平安時代に竪穴住居に住んでいた」と聞くと意外に感じられるかもしれませんが、長野県を含む東日本では平安時代まで竪穴住居が活躍していたのです。【写真3】

さて、多くの遺跡で見つかる竪穴住居跡ですが、残念ながら住居の全ては残っていません。屋根は草や土で葺かれているため、長い年月のう



写真3 復元竪穴住居跡（科野の里）

ちに朽ちてしまっており、残らないのです。火事に遭ったり、災害で一気に埋まったりしたことで稀に屋根が残る例もあるのですが、ほとんどの場合は地面に掘った竪穴の部分のみが見つかります。今回の調査でも、見つかったのは竪穴の部分ですが、そこには生活の痕跡や住居の構造を知る手がかりが残されていました。

写真4は、今回の調査で見つかった竪穴住居跡の一つです。方形の竪穴住居跡で、一辺が約5.5mあります。床面に穴がいくつかありま



写真4 3号竪穴住居跡

すが、このうちの4つが屋根を支える柱を立てた穴と考えられます。【写真4】

また、住居の東壁（写真上側）にはカマドの跡がありました。カマドは古代の台所で、炉に比べて熱を効率よく使うことができます。カマドは大部分が壊れてしまっていたですが、構築材の一部と、火を受けて地面が赤く焼けている部分を確認することができました。カマドの跡は、7軒の竪穴住居跡のうち4軒で見つかっています。写真5の竪穴住居跡では、カマドの周りから坏や甕などの土器も出土しました。坏は食器、甕は主に煮炊きに使われ

た土器です。カマドで食材を調理し、みんなで楽しく食事をしていたのかもしれない。【写真5】、【写真6】

土器は時代によって様々な特徴があり、遺構の時期を推定する重要な資料になります。今回の調査で竪穴住居跡から出土した土器は、形や製作技法などから平安時代の土器と判断できたため、竪穴住居跡も同時代のものであると考えられます。

7軒の竪穴住居跡は、住居どうしが近すぎたり、重なりすぎることなく分布していました。住居の建替えなどはず、一定期間居住した後には別の場所に集落が移動し

た可能性が高いと推測しています。

4 おわりに

現地での発掘調査が終了し、遺跡はすでに埋め戻されています。これから新複合施設が建設され、この場所の歴史が新しく積み上げられていくのだと思います。この場所にあった遺跡はなくなってしまうかもしれませんが、発掘調査によってその記録を残すことができました。発掘調査を通し、千年以上昔からこの場所に人々が暮らしていたことの証を未来に伝えて行くことができれば幸いです。

（篠井ちひろ）



写真5 4号竪穴住居跡



写真6 カマド周辺の土器

春のスポーツ大会

4月26日（日）に春のスポーツ大会が開催されました。

ソフトボールの部、ビーチボールの部、小学生ビーチボールの部の3部門が開催され、27チーム（14分館）の287名の参加をいただき、各会場では熱戦が繰り広げられました。

大会の結果は次のとおりです。

【ソフトボールの部】

Aブロック	優勝：上五明分館	準優勝：立町分館	3位：金井分館
Bブロック	優勝：田町分館	準優勝：入横尾分館	3位：御所沢分館
Cブロック	優勝：網掛分館	準優勝：四ツ屋分館	3位：戌久保分館

【ビーチボールの部】

Aブロック	優勝：鼠宿分館	準優勝：込山分館	3位：上五明分館
Bブロック	優勝：金井分館	準優勝：四ツ屋分館	3位：月見分館
Cブロック	優勝：金井分館	準優勝：網掛分館	3位：込山分館

【ビーチボール（小学生の部）参加分館】

金井分館、入横尾分館、上五明分館、月見分館



国際交流教室

6月13日（土）に文化センターにて、国際交流教室を開催しました。第1回目はアメリカがテーマで、講師に苅屋原在住で戸倉キリスト教会牧師のロビンズさんご夫婦を迎え、アメリカの教育や暮らし、遊びなど色々な文化を講演していただきました。

当日は、お子さんから大人の方まで、様々な年代の方がロビンズさんご夫婦に聞きたいことを質問したり、ゲームをしたり交流をしました。

全4回の国際交流教室の第1回目が盛況に終わり、残り3回も色々な国をテーマにして開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。



公民館文化講座開講式

4月10日（金）に令和8年度公民館文化講座の開講式が行われました。

今年度は、13講座15教室あり、現在114名の方に受講いただいています。初心者を対象とした講座となっていますので幅広い年齢層の皆さんで、長きに渡り親しまれ守られてきた文化に触れてみてはいかがでしょうか。年度途中からの受講も可能です。

【昼の部】季節の郷土料理、詩を楽しむ、茶道（表・裏千家）、古文書、盆栽、短歌、俳句、絵画

【夜の部】茶道（表・裏千家）、書道、木彫、コーラス、陶芸

受講希望の方、詳しく知りたい方は、生涯学習情報誌「学びの玉手箱」をご覧ください。文化センターまでお気軽にご連絡を！



第48回 納涼音楽会

7月4日(土)、南条小学校音楽堂にて、坂城町音楽愛好会と町公民館の共催で、第48回納涼音楽会を開催しました。今年は、9団体が参加され、日頃の練習の成果を十分に発揮していました。

また、部活動地域展開により坂城中学校吹奏楽部は、千曲坂城クラブ吹奏楽専門部となりました。坂城町と千曲市の大勢の皆さんに参加していただき、より賑やかに開催することができました。

出演団体

1. 坂城コーラス
2. 村上小学校合唱部
3. 坂城オカリナ教室
4. 坂城小学校
5. 童謡・唱歌を楽しむ会
6. さかきハッピーブラス
7. 千曲坂城クラブ吹奏楽専門部
8. アルストロメリア
9. 坂城町吹奏楽団



開会セレモニーで「坂城町の歌」を全員で合唱し始まった音楽会は、2部構成で行われ、小学生から大人まで、歌声や楽器の美しい音色を会場に響き渡らせていました。閉会セレモニーでは「ふるさと」を全員で合唱し、納涼音楽会の幕が下ろされました。

会場の皆さんは、出演された各団体の皆さんが作り上げる心地よい演奏を聴き、大変盛り上がった音楽会となりました。

続・楽しく脳トレ

6月13日(土)から文化センターにて、続・楽しい脳トレがスタートしました。

軽い運動をして「認知機能をつかさどる脳」「運動に関係した脳」を活性化させ、健康で楽しい人生を送っていただくための講座です。特に、楽しい運動は「情動に関係した脳」にも刺激を与え、認知機能低下も予防すると言われています。

町スポーツ推進委員が講師となり、第1回はモルックを行いました。皆さん楽しんで体を動かしていました。



第37回 坂城町文化の館 合同茶会

～気軽に楽しむ和の心～

4月29日(水・祝)坂城町文化の館にて合同茶会が開催され、華やかな着物姿の方々など180名を超える方にご参加いただき、お茶席が常に満席になってしまいうほど多くの来場者で賑わっていました。

今回は表千家が本席、裏千家が整備された庭で野点席を取り仕切り、訪れた皆さんは、亭主が心を込めて点てた美味しいお茶と季節のお菓子を味わいながら、春を感じつつゆったりとした時間を過ごしていました。



ソフトボール大会 立町編

これは立町に語り継がれる、ソフトボールにおける勇者達のお話である。相手は魔王軍団中之条、金井。先陣を切ったのは宮入の3ランホームラン、レフト春日のレーザービーム、エリア51は彼の為にある言葉なのか。ショート平田は立町のムーキーベッツ、ホームランを打ったり大活躍、そして最終兵器宮尾、甲子園でホームランを打つなど、その栄光は輝かしくチームの中心的存在、しかし戦いは引き分けとなり9人でジャンケン。ここで勇者達は大きな落とし穴を知る。ジャンケンが弱い。次の戦いには勝利し彼らの死闘は幕を閉じた。勇者達の顔には清々しさと達成感、そして筋肉痛が彼らの頬を歪めていた。



上五明分館紹介

上五明区は約230世帯の小さな地域です。かつては公民館活動も盛んで、地域全体に強い仲間意識がありました。しかし、近年は若い世代が減り、さらにコロナ禍で活動を休止した時期もあったため、人と人のつながりが以前より薄くなってきているように感じます。それでも、地域の行事は少しずつ活気を取り戻しています。3月には新入学児童のお祝い会を開き、今年は3名の子どもたちを地域で温かく迎えました。町のソフトボール大会では上五明区がブロック優勝を果たし、大きな励みとなりました。区のマレットゴルフ大会には40名ほどが参加し、夏祭りや秋のスポーツ大会も予定しています。顔を合わせる機会を大切にしながら、これからも地域のつながりを育んでいきたいと思っています。

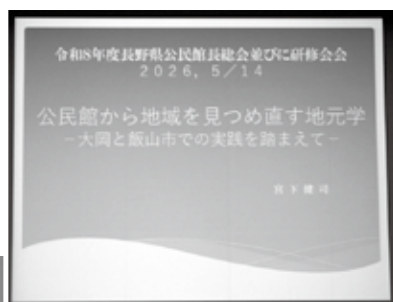
管内分館役員研修会

更埴公民館運営協議会主催による更埴管内分館役員研修会が5月14日(木)に千曲市あんずホールで開催され、平日の開催にもかかわらず、坂城町から7名の分館役員の皆さんに参加していただきました。

今回は、長野県公民館館長総会並びに研修会と同時開催で行われ、研修会では

長野市立博物館協議会会長であり、元長野市立安茂里公民館長の宮下健司先生を講師に、飯山市・長野市大岡での実践についてお話いただきました。

公民館から地域を見つめ直す「地域学」の話題について、更埴管内の分館役員の皆さんも聞き入っていました。



ベビーマッサージ& ペタペタアート教室

5月15日(金)からベビーマッサージ&ペタペタアート教室が、文化センターで開催しました。毎月第3金曜日に開催し、参加されたお母さん同士のコミュニケーションの場になっています。手形や足形をとったり、一緒に遊んだり、スキップを通して赤ちゃんとの絆を深めていく教室で、講師の堀内二美先生が色々な相談もお受けします。

来年3月まで計11回を予定しています。詳しくは文化センターまでお問い合わせください。



キッズスポーツ教室

5月13日(水)から4歳児、5歳児を対象に、キッズスポーツ教室を開催しています。年間30回ある教室の中で、いつもと違うお友達と運動や楽しいレクリエーションゲームを通じて、スポーツに親しみ、豊かな創造力を育てていくことを目的としています。長野体育指導センターの依田先生のご指導のもと、1年間元気よく活動していきます。



500字リレートーク 夢の芝生ライフ

藤本 圭祐

我が家の「緑のオアシス」、そして時には「格闘の場」でもある庭の芝生についてお話しします。

私は昔から、「家を建てたら、青々とした芝生の庭で子どもと遊びたい」という夢を持っていました。そして数年前、その夢が叶い、念願の芝生の庭を造ることができました。

ところが、現実はその甘くありませんでした。芝生は放っておいてもきれいに育つわけではなく、次々と生えてくる雑草の手入れや定期的な芝刈り、春の更新作業など、想像以上に手間がかかります。「こんなに大変だったのか」と途方に暮れたこともありました。

そんな芝生との格闘も、最近は少し様子が変わりました。今年の春に念願の電動芝刈り機を購入しました。おかげで作業がずいぶん楽になり、更新作業や芝

刈りも以前ほど苦にならなくなりました。

大変さもありますが、この庭を造ってよかったと思うのは、子どもたちが裸足で元気いっぱい走り回り、一緒にドッジボールを楽しんでいる時です。転んでも痛くない緑の絨毯の上で、笑顔でしゃぐ姿を見るたびに、「夢が叶ったな」としみじみ感じます。

これからも愛情と根気を持って、この芝生の庭を大切に育てていきたいと思っています。

次のリレートークは、日向芽吹さんにおねがいします。



芝生で走り回る子供たち

第54回 文化祭開催のお知らせ

10月24日(土)、25日(日)の2日間、南条小学校音楽堂、体育館及び文化の館を主会場として「第54回坂城町文化祭」を開催します。芸能公演の参加者・作品展示の出品者を募集します。

申込期限:8月7日(金)

申込・問い合わせ:町公民館(文化センター内)

秋のスポーツ大会

10月3日(土)、坂城町公民館主催の秋のスポーツ大会を鼠橋運動公園マレットゴルフ場で開催します。秋の爽やかなコースでマレットゴルフをプレーしませんか。

分館単位の申込みになりますので、各地区分館役員にお尋ねください。



短詩型文学祭作品募集

坂城町と千曲市で構成する更埴公民館運営協議会では、第31回更埴地区短詩型文学祭を開催します。応募要領と投稿用紙は坂城町公民館にあります。入賞者には、表彰状と記念品を贈呈しますので奮ってご投稿ください。

募集期間:7月1日(水)~8月31日(月)

募集部門:短歌・俳句・川柳・現代詩

投稿料:応募用紙1枚につき500円

(小・中・高校生は無料)

投稿先:坂城町公民館(文化センター内) ☎82-2069

宝塚歌劇の世界

長野市出身で、元タカラジェンヌ朱紫令真さんの講演会です。

地元信州への想いや、宝塚歌劇団でのお話、山極遥香さんの伴奏で独唱を予定しています。

予定曲「愛あればこそ(ベルサイユのバラ主題歌)」、「すみれの花咲く頃」、「フォーエバー宝塚等」



元星組

出演者:元星組 朱紫 令真(長野市出身) 朱紫 令真さん

ピアニスト 山極 遥香

日時:10月24日(土) 13:30~14:30

場所:南条小学校 音楽堂

定員:150名

受講料:無料



ピアニスト

山極 遥香さん

「こんにちは」陸上クラブの練習にきた坂城中学校の生徒さんは、いつも事務室に向かつて気持ちのいい挨拶をしてくれます。

令和5年から6年にかけて、坂城町文化センターの耐震補強及び大規模改修工事が行われました。この工事で、今まで2階にあった事務室が1階になりました。お陰で文化センターに来られる皆さんの顔を見ることが、よくできるようになりました。

2階には「コミュニティホール」ができました。ここには、丸テーブルが3つと各テーブルに椅子が4つずつ備え付けられています。さかき歴史同好会の皆さんは、資料作り等で来られた時に、ここを活用してくださっています。

また、このスペースを使って、千曲・坂城の各福祉事業所等を利用する皆さんの作品展「さんきゅーあーと展」が開催されました。坂城中学校の生徒さんが学校帰りに立ち寄って、勉強している姿を見ることがありました。

文化センターの各部屋は使用料がかかりますが、ここはかかりません。飲み物を飲みながらお話しすることもできます。夏は「クールシェアスポット」となり、涼しい環境です。演奏会や美術展等のチラシも置いてありますので、お気軽にお立ちください。皆さんに文化センターを活用していただくと嬉しいです。

説
館
開
演
かい
ぜ